



教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507

<http://catholic-kofu.com>

発行 甲府カトリック教会広報委員会

神父のつぶやき

カトリック甲府・塩山教会

主任司祭 白木 信一

あるとき、カトリックに興味があって聞きたいことがあるとの電話があった。いろいろお話した中で、「何のためにキリスト教をやるのですか」との問いがあった。その方は、プロテスタントの洗礼を受けているとのことだったが、ついつい本当に受洗しているのかを確かめるべく質問してしまった。

さてこの質問、皆さんが問われたら何とお答えになるのだろう。その方は、家は仏教だそうだが、音楽が好きで、通っていた教会では礼拝のときに生バンドがあり、それをやり続けるためには洗礼を受けなければならないのかと思ひ、洗礼を受けたとのこと。その方にとってはどうもバンドをやるのが、「キリスト教をやる」理由なり目的だったようだ。

我々はなぜキリスト教の信仰を生きるのか？カトリック信徒の方々は、この質問をされたらどのように答えるのだろう。自問自答し、自分の答えを確認してみてもいいのではないだろうか。

私は長崎県の田舎の炭鉱町生まれで幼児洗礼だった。物心ついた頃には、すでに自分がカトリックの信徒であったので、そのことは自分が日本人であることと同じように当たり前のことだった。ミサに行くのは当たり前、お祈りするの当たり前、告解するのは当たり前と、教会生活をするのはごく当たり前のことだった。そのため、何故自分はカトリック信徒なのかとの問いは、何故自分は日本人なのかとの問いと同じで、改めて自分に問うことはなかった。私の場合は成人後にその結論を出すことにはなった。

恐らく大抵は、自分が何故に日本人なのかと、問いかけることはなかっただろうと思うのである。なぜなら、日本に住んでおり周りも日本人がほとんどで、特にそのことを意識し、そういう問いかけすら必要ないということだからである。

しかし、自分がカトリック信徒であるということは、周りの人にとっては当たり前ではなく、確かにキリスト教の人口は日本の人口の1%ぐらいとの統計があるから、本当に稀なことだ。言ってみれば日本にあっては異色なわけだ。日本において世間という大きな正体不明の力の中で異色な生き方を続けることは、自分で納得し受容し決断し、喜びをもって生きていくことができないと、これはかなりきびしいことではないだろうか。

信仰を生きるということは、世間の価値観や感覚と違ったものだったり、習慣も違ったりで、意識して自分の信仰を生き抜くことに挑戦していかないと、一体自分が何者なのか、自分にとって優先していかなければならないことが何なのかを見失ってしまう。その意味でも、なぜキリスト教を信仰するのかについて、自分の答えがありそれを他者にも宣言できることは必要であると思う。これも一つの宣教となるだろう。

お知らせ(6月)

1. 帰天

(1) 幡野昌利様（霊名ペトロ ）(享年87歳)（南ブロック）

ご入院先の甲府市内の病院で5月1日にご逝去なさいました。

故人は、長く教職にあられ、多くの子弟の教育に当たられお優しく慈しみをもってこどもたちを教え、導き多くの子弟たちから慕われました。

病気の苦しみから解放されみもとに召された個人の永遠の安息をお祈り申し上げます。

(2) 小林周助様（霊名 ルカ）(享年91歳)（山城ブロック）

5月11日にご逝去なさいました。

長く地域の中で多くの人々と交流を深め、大勢の人々に見送られ天の故郷に旅立たれました。永遠の安息をお祈り申し上げます。

2. 転入

田村恵一（ヨハネ）・まりあ（アンナ・マリア）様ご夫妻

横浜教区の鷺沼教会から、5月11日に甲府教会に転入されました。新しいお住まいは甲府市です。

ご夫妻は、お仕事などの都合で2013年に転出され約5年ぶりに帰ってこられました。教会・共同体でのご活躍が期待されています。

どうぞよろしくお願い致します。

3. 堅信の秘跡の準備が始まります。

11月4日(日)甲府教会で行われる甲府・塩山・韮崎教会合同堅信式で

堅信の秘跡を受けることをお申込みになられた信徒の方の堅信準備クラスが下記の日程で始まります。

7月15日、7月22日、8月5日、8月12日、8月19日、8月26日、9月2日、9月9日、9月16日、9月23日、9月30日、10月7日、10月28日（全13回）

日程はすべて日曜日の午後2時からで、山梨カトリックセンターホールで行います。

ご都合のつかない方は白木神父様にご相談下さい。

なお、高校生の教会の勉強会は別途あります。

4. 初聖体

6月3日(日)キリストの聖体の主日のミサで6名のお子さんが初聖体のお恵みを受けられます。

ミサ後、サンタルチア講堂で初聖体のお祝いの会を行います。

信徒の皆さまのご出席をお願い申し上げます。

5. 召命の祈り

6月より第一週の日曜日のミサの5分前から「召命の祈り」を全員で唱えます。
当日は、ミサの5分前までに着席されますようお願い申し上げます。

(詳細は、典礼委員会の別ページをご覧ください)

6. 6月の早朝ミサ等

6月の早朝ミサ(6時50分)は、毎週火曜日、金曜日、土曜日に捧げられます。
なお、6月1日は9時30分より初金のミサが行われ、その後、センターホールで聖書を読む会を行います。

また、26日(火)、29日(金)は都合によりお休みします。

7. 6月の教会学校・中高生会及び初聖体クラス

6月の教会学校・中高生会は、10日(日)と17日(日)に行います。

なお、堅信の秘跡を受ける高校生の勉強は、6月10日(日)からスタートします。

8. 典礼委員会

6月16日(土)9時から、センター・ホールで開催します。

9. 青少年育成委員会

6月19日(火)10時からセンターホールで行います。

10. 女性会

6月3日(日)は初聖体のお祝いの会のため中止、次回は7月1日(日)に開催します。

11. きずな

6月13日(水)10時から、センターホールで行います。

12. ピーターラビット

6月12日(火)13時30分よりセンターホールで行います。

今月のテーマは：「布ぞうりをつくりましょう」

詳細は、センター掲示板のポスターをご覧ください。参加を希望される方は、

6月3日(日)までに同ポスターにお名前の記入をお願い致します。

13. 「いのちへのまなざし」(日本カトリック司教団)の読書会(勉強会)

「21世紀の司教団メッセージ」として発行された「いのちへのまなざし」の読書会(勉強会)6月12日(火)16時よりセンターホールで行います。

なお、当読書会は毎月第2火曜日16時に行うことといたしました。

(問い合わせ先：南ブロック 田村照夫さん)

14. ミニバザー

6月17日(日) ミニバザーをサンタルチア講堂で行います。

この収益金は、力障連横浜大会と東北支援「こびっと」の資金に寄贈します。

なお、当日 販売する物品は、6月10日以降にお持ちになり、地域福祉委員に直接お渡しくださいますようお願いいたします。

(本件問合せ先：地域福祉委員長 池田まゆみさん)

15. ブラジル籍グループのリーダーの交代について

ブラジル籍グループのリーダーが、エステルさんから川村さんに交代されました。

エステルさん、長い間お疲れさまでした。

新リーダー川村さんが神の祝福に満たされ同胞と共同体のためにご活躍されるようお祈り申し上げます。

16. 関係団体などからのお知らせ

(1)NPO 法人やまなしライフサポート

・パトロール

6月24日(日) 14時山梨カトリックセンター(甲府教会)に集合、
甲府駅周辺と講演や河川敷のパトロールを行います。

(連絡先)080-5501-8191 事務局長 芦沢信)

(2)NPO 法人こどもサポートやまなし

① 定期総会と設立5周年記念講演会

6月9日(土)13時より甲府カトリック教会サンタルチア講堂で開催します。

(記念講演会は折込チラシをご覧ください。)

② 運営委員会

6月19日(火) 18時30分から甲府カトリック教会で行います。

③ 学習会

6月10日(日)、6月24日(日) 13時30分~16時00分まで
山梨カトリック福祉センターで行います

④ 事例検討会

6月28日(木)18時30分より、センターホールで行います。

⑤ ともだちひろ場

6月2日(土)及び6月16日(土) 13時30分より山梨カトリック福祉センターで行います。

⑥ 四季のあそび場

6月23日(土)身延町の「佐野農場」で子どもと家族で「ジャガイモ掘り」を

行います。（甲府教会を10時に出発する予定です。）

参加の申し込み締め切りは、6月10日（日）です。希望者はセンター
掲示板の申込用紙にお名前をご記入ください。

⑦ 事務所および相談コーナーの移転

6月1日より、事務所および相談コーナーが下記に移転します。

お気軽にお立ちより下さい。お待ち申し上げております。

甲府市宝2丁目1-5（旧横山会計事務所）

（穴切神社参道入口の右側2件目）

（問合せ先 事務局 木村 090-8031-9608）

(3) 山梨ダルクを支援する会

① ギャンブル依存症回復施設 グレイス・ロード 3周年感謝フォーラム

「ギャンブル依存症からの回復」

・日時 2018年6月16日（土） 10時～16時30分

・会場 甲府市総合市民会館 芸術ホール

以上

＊ ＊ 召命の祈り ＊ ＊



神である父よ、教会に聖霊のいぶきを注いでください。
あなたの愛の招きにこたえて、神と ひとびとに仕える司祭を
わたしたちのうちから召し出してください。
主、キリストによって。アーメン

6月の第一週目より、月の第一日曜日に「召命の祈り」を、みなさんで唱えます。
ミサの始まる5分前に、その日の共同祈願担当の方に「神である父よ、」まで唱えてい
ただき、▲の「教会に・・・・」からは、みなさんで一緒に唱えます。会衆のみなさ
まはお座りになったままで結構です。共同祈願担当の方は申し訳ございませんが、ミサ
開始10分前にはおいで下さいますよう、お願いいたします。

横浜教区一粒会山梨地区甲府小教区からのお知らせ

一粒会の毎年の献金額は1990年代後半から15年ほどわたり4700万円内外の安定
推移でしたが、2011年を境に2012年から4300万円内外に減少した状況が続い
ています。

横浜教区一粒会だより「2011年6月号」に記載されているように、毎年一粒会か
ら教区本部に納入される献金は、大半を神学生養成援助金として教区へ拠出しているほ
か、司祭の研修・医療・老後の援助のため司祭援助金、当該年度の教区神学生養成に必
要な経費を差し引き、残額は教区本部会計の神学校会計に積み立てられます。この積立
金は日本カトリック神学院の運営に係わる横浜教区はじめ各教区への経費分担金の増
加、神学生一人当たりの養成費の上昇に備えての積み増しですが、献金額の減少により
積立額の減少により積立金の繰り入れ額も減少しています。

一粒会甲府小教区でも会員数の減少、献金額の減少が見られます。一粒会の会員を引き
続き募集しております。緑の一粒会専用の封筒で献金していただきますと、自動的に
一粒会会員登録となりますのでご協力お願いいたします。

横浜教区一粒会からのお知らせ

一粒会の目的・活動

一粒会は、司祭の召し出し成聖のために祈りと犠牲をささげ、神学生養成のために経済援助をすることを目標としています。横浜教区長（司教）を会長として横浜教区内の司祭、修道者、信徒、求道者が会員となりますことができます。

この目的の中には、教会の中に隠されている貴重な宝、若者に召し出しを考える機会をもたらすことが含まれています。わたしたち信徒が神の救いのわざにあずかるために、司祭の導きは欠かせないものです。

「刈り入れは多いが働く人は少ない。だから、刈り入れのために働く人を送ってくださるように、刈り入れの主
に祈りなさい。」とイエス様は、今もわたしたちに呼びかけておられます。司祭の召命と成聖のために祈ることは、すべての信徒のつとめです。

横浜教区では、1942年に、一粒会が創設され、以来、司祭召命を求める祈りをささげ、そして、神学生養成のための献金などの召命の促進運動を行なっています。

一粒会の会員数は2017年現在6400人余りですが、20年前に比べて約3000人の減少が見られるため、一粒会への入会が呼びかけてられています。

2016年現在、横浜教区（神奈川・静岡・長野・山梨の4県で構成）には、司教1人、教区司祭44人、その他 宣教会・修道会の司祭45人を含め合計90人の司祭が、教区内で宣教司牧活動をされています。しかし司祭の高齢化と宣教会・修道会からの派遣が減少し、少子化等によって、司祭を志す人が極端に少なくなっていることから、横浜教区の中にも司祭不在の教会が出てきており、司祭志願者の輩出と神学生の育成が急務となっています。

一人の司祭が誕生するためには、最低6年間（哲学課程2年間 神学課程4年間）の養成課程を経ることが必要であり、また養成のためにも多くの費用がかかります。たとえば、神学生の学費、生活費、日本カトリック神学院の運営に係わる横浜教区ほか各教区への分担などの費用が会員皆様からの尊い献金で賄われています。

皆様、聖なる司祭が一人でも多く与えられますよう、お祈りと援助をおねがいします。

そして一粒会の活動が多くの方の協力者に支えられて、着実に実り多いものになりますよう願っています。

- 一粒会目的と活動に賛同の方は、献金を納入することによって入会となります。
- 入会者には、横浜教区長（司教）からい委嘱された一粒会担当の小教区委員より「横浜教区一粒会のしおり（会員証）をお渡しします。
- 一粒会への献金は、いくらでもよろしいですが、各自の分に
応じて毎月一定額を納めていただくようお願いいたします。
- 会員の年齢制限がなく、大人はもちろん特に子どもがすすんで会員なることが望まれます。
- その他、一粒会の組織、活動などについては、所属教会の一粒会会員におたずねください。



「アリの街のマリア」上映会に参加して

今津 奈津江

「アリの街のマリア」の上映会は 110 人のお客様を迎えて行われました。2015 年に尊者として認定された北原怜子さんの映画と写真展のため、信者の方は興味を持って多くの方が参加されましたが、信者でない方々も彼女の生き方に関心があるようでした。

映画の後、陶山孝一さんが北原さんやアリの街の写真を見ながら当時のことを説明してくださいました。そして幼い頃、上野（浅草）の教会で北原さんとお会いしたという奈良さんが、その頃のことをお話ししてくださいました。北原さんとお会いになった方がこの教会にいらっしゃることにとっても驚きました。

第 2 次世界大戦後まだ庶民の生活が混乱し貧しかった頃、廃品回収業で生活共同体をつくっていたアリの街の人々に、心から寄り添い共に苦しみ生きようとした北原怜子さんの生涯が、人々の心を一つにして大きな奇跡を生んでいきました。

彼女の根本にあったものは、「人を魂の目で見ること」「人を自分と同じように愛すること」だったように思います。アリの街の人々と共に生きることは、短い生涯の終りまでぶれることなく行動し、祈り続けた方だと思いました。福音の中で「自分を愛するように隣人を愛しなさい」という言葉がありますが、この言葉が彼女の礎になっているのではないのでしょうか。

現代の価値観は「損か得か」「有名になるかどうか」「見栄えがいいかどうか」など多様です。そんな中で自分の礎に何を据えればよいのかを見直すことが必要なのでしょう。「本当の教養とは、職業や学歴でなく、本当に人を愛せるかどうかなんですよ。」と恩師がよく言っていました。北原怜子さんのような方がそうなのだ映画を見て実感致しました。私もしっかりした礎を持って生きたいと心より思いました。

こんにちは、こぴっとプロジェクトです

(山梨地区東北被災地支援プロジェクト)

○ボランティア行ってきました

- ・ 担 当 : 甲府/塩山教会
- ・ 訪問地 : カリタス石巻ベース
- ・ 日 程 ; 6月25日(月)~28日(木)
- ・ 参加者 : 宮澤(甲府)、小沢(塩山)

○東日本大震災被災地支援ツアー行ってきました

- ・ 担 当 : こぴっとプロジェクト
 - ・ 訪問地 : カリタス石巻ベース(宮城)、南相馬ベース(福島)、他
 - ・ 日 程 ; 5月11日(金)~13日(日)
 - ・ 参加者 : 富士吉田、甲府、韮崎の10名
- 感想、写真等は7月号で掲載予定です。

○2018年東日本大震災被災地支援講演会について

- ・ 約50名の方が参加され講演会が行われました。
- ・ 講演会で、献金 34,963円
書籍販売 37,430円 ありました。
合計72,393円を講師の佐藤師へ献金いたしました。

皆さんの講演会への参加、献金・書籍購入の協力、ありがとうございました。

風に鳴る

勢いよく春の風が吹くのに

一本だけ靡かない草がありました

必死に立って力強く根を張り

天をにらんで立っているのです

ひとりで生きていくには

つらいけれど ひとりであると自覚して

そのひとりびんの空気の重さを

折り合うこともしれません

だから 春の風に向かっているのです

そよいで ありのままに

靡いていくことが自立なのかもしれません

必死で立っていると力強いようで

ポキッと折れてしまうかもしれません

力を入れなくてもよいと気づいたとき

やっと 生きていることの意味が

感じられるようになっていくときなのかもしれません

風に鳴るのはからっぽのびんです

からっぽにならないとなにも入らないのです

雨が降ったら雨に打たれよう

風が吹いたら風にそよげよう

それが生きていくことなのではないでしょうか

何もわからず立ち止まるわたしがいま

春かるた

春はからっぽの袋だよ

袋を開けると そら

出て行ってしまふのは 青い鳥だよ

春はいつもいっぱい時間だよ

ねじを巻くと ほら

ゼンマイの音しているだろう

春はいつもかるたの読み札だよ

読み札にあるもの

みんなで競って取り合うけど

とった人が勝ちなわけもなく

とれなかった人も 悔しくて泣いて

次にどうしようと頑張るでしょう

そうやって競い合って

お互いに成長していくのが

いい人生なのかもしれないよ

短歌 死と生と

かなしくてあけたらだから過去の風

いまもやさしい寝息をたてて

苦しみというふんわりとおおう布

どけると白い白い骨かな

死ぬことをこわくしてたまらぬ夜があり

いつものようにふとんをかかけて

ああ いつもゆづるれどきはまやかしの

しあわせなりと電気をつける

川柳・鈍器

窓際に鈍器のよつに光あふるる

切なくて夾竹桃の折られけり

ままははのよつな小さないのりのよつな

きついゴムゆるめるよつにぬめりの日常

安穩と生きております チュウリッ

(おひんぽお)

✠ 今月の典礼奉仕表（6月） ✠

日	第一朗読	第二朗読	共同祈願奉仕	聖堂案内
6月 3日	石塚 奏	風間 愛	遠藤	池田
10日	広瀬	大木	御荘	芦沢（マ）
17日	大井	宮田	芦沢	今津
24日	山田	宮澤	池田	長野
7月1日	シキナ・マサキ	川村えいじ	志村	木村

✠ 今月のこよみ（教会暦、行事等） ✠

- ・主日のミサ 日曜日10:30～、土曜日18:00～イエスのカリタス甲府修道院（ヨゼフ寮）
- ・平日のミサ 火・金・土曜日06:50～（但し初金のミサ 9:30～）

6月 3日（日）キリストの聖体	10:30	～	ミサ（ミサ後、初聖体お祝い会）
	15:00	～	スペイン語ミサ（Español）
10日（日）年間第10主日	10:30	～	ミサ
	18:00	～	ポルトガル語ミサ（Português）
17日（日）年間第11主日	10:30	～	ミサ
	12:30	～	韓国語ミサ（한글）
24日（日）洗礼者聖ヨハネの誕生	10:30	～	ミサ
	15:00	～	英語ミサ（English）
7月 1日（日）年間第13主日	10:30	～	ミサ（ミサ後、女性会）
	15:00	～	スペイン語ミサ（Español）

※ 6月26日（火）・29日（金）の早朝ミサはお休みとなります。

清掃当番表（6月、7月 各ブロック輪番制）

6月 3日（日）ペルーグループ	6月24日（日）フィリピングループ
6月 9日（土）山城・峡南ブロック	6月30日（土）東・南ブロック
6月10日（日）ブラジルグループ	7月 1日（日）ペルーグループ
6月17日（日）韓国グループ	7月 7日（土）中央・北ブロック